

保護者の皆様へ ～子どもたちが、家庭学習によりよく取り組むために～

「自ら学ぶ力」を、子どものころから大切に育て、将来、社会に貢献する大人として活躍するために身に付けさせたい資質・能力の一つだと考えています。「自ら学ぶ力」を育てるために、学校と家庭が連携し、子どもたちの家庭学習の充実を図りたいと考えています。

そこで、保護者の皆様には、次の点についてご理解とご協力をよろしく申し上げます

お願い

お子さんの学習に対する興味・関心を受け止め、励ましてください

1 子どもの学習の様子を見てください。

- (1) 家庭学習に取り組んでいる様子を、実際に見てください（毎日がよいのですが、休みの日だけでもよいです）。
- (2) 学習した内容を把握してください（学校で使っているノート、宿題プリントや自主学習ノート）。
※学校から持ち帰った作品は、おうちで飾ってください。特に、家族みんなが見えるところの方がよいです。
- (3) やったこと、できたことを認め、たくさん褒めてください。

2 学習環境を整えてください。

- (1) お子さんと一緒に、1日の中のどの時間帯に家庭学習をするのかを話し合ってください。
- (2) テレビやゲームのスイッチを切り、集中して学習できる環境を整えてください。
- (3) まずは、おうちの方の目の届く場所で、取り組ませてください（取り組み方を褒めるために）。
一人でもできるようになってきたら、自分の部屋などで取り組ませるようにしましょう。



時間を大切に！

3 担任（学校）と連絡を取り合しましょう。

- (1) 分からないこと、困ったこと、心配なことなど、小さなことでも学級担任に相談してください。
「石小っ子カード」を活用してください。
- (2) 「石小っ子カード」には、家庭学習の取組を確認してから、お子さんに渡してください。
※保護者の方の確認は、保護者の方が押印をお願いします。また、お時間がありましたら、家庭学習の取組の様子や学校生活について家庭で話題になったことについてのコメントをお願いします。
- (3) 「石小っ子カード」に書かれた担任からの連絡にも、ぜひ目を通してください。

4 その他

- (1) 学習の際の座り方や鉛筆の持ち方についても、気を付けさせてください。
- (2) お便りを、保護者の方にすぐ見せるよう、学校で指導しています。習慣化させてください。



声かけのポイント

お子さんの成長にあった関わり方を心掛けてください

1 低学年への声かけ

低学年の子どもは、「何でもやれるよ。できるよ。」と言うことがよくありますが、実際には、なかなか一人でやることは難しいものです。したがって、おうちの人の協力は欠かせません。やる気を失わない温かい励ましで、次へのやる気を育てましょう。

【ポイント】

- ・おうちの人と楽しく学習する体験をさせましょう。
- ・できるだけ、短い時間に区切って学習させましょう。

2 中学年への声かけ

中学年になると、何とか自分で決めて行動しようとする気持ちが芽生えます。一方で、なかなか自分への甘えを克服できない時期でもあります。そこで、子どもの葛藤を知り、温かく見守ったり、ちょっと手助けしたりするなど、おうちの方の心の余裕が必要です。

【ポイント】

- ・自力で取り組もうとする姿勢を、積極的に励ましましょう

1歩ずつ着実に！

3 高学年への声かけ

高学年になると、学習に対して、自分なりの見方・考え方をもち始めます。思春期を迎えようとしている子どもたちだけに、自尊心も一層強くなります。ですから、自分なりに選択したり、工夫したりしていることを大いに認めて、意欲的に取り組めるようにしましょう。

【ポイント】

- ・自分の学習目標を具体的に設定させましょう。
- ・自分のペースで、じっくりと取り組ませましょう。

★「自ら学ぶ力」を育てることは、約束を守ること、自分で決めたことをやり通す力を育てることにつながります。「継続は、力なり」です。

◎ここからは、お子さんと一緒に、お読みください。

家庭学習のススメ

◎実力の差は小さいが、努力の差は大きいものです。そして、努力は自信につながります。

家庭学習とは

石巻小学校では、「本読み・宿題・自主学習」を家庭学習とします

- 1 本読みとは
国語の教科書や興味をもった図書、古文(百人一首)などを「声に出して読むこと」を言います。
- 2 宿題とは
学級のみんに、「しっかりと知ってほしいこと、できるようになってほしいこと」について出された課題のことを言います。
- 3 自主学習とは
子どもたちが、学習内容を「自分で決めて(課題を見つけて)取り組む」学習のことを言います。

家庭学習の計画

本校では、「10分×学年+10分」を、目安としています

最初は、短い時間で集中して取り組むことを心掛けます。できるようになったら、少しずつ長い時間で学習できるようにしましょう。そこで、休憩時間の回数や学習時間によって、3つの計画を例に示しました。

【5学年の場合(「10分×5学年+10分」=60分)の例】

Aプラン～休憩2回

本読み (15分)	休憩 (5分)	宿題 (15分)	休憩 (5分)	自主学習(30分) 例:国語、算数など(※内容は、曜日ごとに変更)
--------------	------------	-------------	------------	--------------------------------------

Bプラン～休憩1回

本読み (15分)	宿題 (15分)	休憩 (5分)	自主学習(30分) 例:日記、作文など
--------------	-------------	------------	------------------------

Cプラン～休憩1回、前半の学習時間が長い場合

宿題 (15分)	自主学習(30分) 例:ローマ字練習、社会科、理科、作品制作など	夕食 (30分)	本読み (15分)
-------------	-------------------------------------	-------------	--------------



※3つのプラン以外にも、自分に合っている計画を立てて取り組んでもいいです。

◆家庭学習の5つの約束◆

- 1 毎日続けること～自分の弱い心に負けないこと～
- 2 集中すること～できるだけ静かなところで～
- 3 目標(めあて)をもって取り組むこと
- 4 ていねいに取り組むこと
- 5 よい姿勢で学習すること



やる気を育てる

自主学習の内容

学年が上がるにつれて、自主学習の時間が長くなるのが理想です

【例】※国語や算数の学習内容だけではなく、自分の課題に合わせて取り組みます。

- * 作文や詩
- * 新聞やニュースを見て感じたことをまとめる
- * 日記
- * 読書感想文
- * 漢字練習(1年生からの復習、魚へのつく漢字集めなど)
- * ローマ字練習
- * 日常生活で見られる英単語集め
- * 市販されているワークやドリル
- * 社会科の調べ学習(都道府県調べ、歴史の人物調べ、世界の国調べなど)
- * 理科の調べ学習や観察
- * 作品づくり(絵や工作)
- * 習字
- * そろばん
- * リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習(練習したら先生の前で発表するなど)

